

地震研共同利用研究集会「火山現象のダイナミクス・素過程研究」

日時：12月4日（木）・5日（金）， 場所：東京大学地震研究所 2号館第二会議室

12月4日（木）

- 10:30-10:55 「3次元シミュレーションによる2014年Kelud火山噴火の再現」
鈴木雄治郎¹・井口正人²・前野深¹・中田節也¹・橋本明弘³・新堀敏基³・石井憲介³
(¹地震研, ²京大, ³気象研)
- 10:55-11:20 「2014年Kelud火山の噴火に伴う電離圏擾乱 -GNSS-TEC法による観測-」
中島悠貴・日置幸介・竹尾明子・M. N. Cahyadi・Arif Aditiya (北大)
- 11:20-11:45 「2014年Kelud火山噴火時の広帯域地震計記録解析」 竹尾明子 (北大)
- 11:45-12:10 「超音速噴流周辺の流れ場の解析」 Srisha M. V. Rao・齋藤務 (室蘭工大)
- [昼休み]
- 13:20-13:45 「噴煙柱モデルの再構築と火山灰輸送実験」
橋本明弘¹・鈴木雄治郎²・新堀敏基¹・石井憲介¹・高木朗充¹ (¹気象研, ²地震研)
- 13:45-14:10 「高解像度長期気象・気候データベースCRIEPI-RCM-Eraと数値降灰モデルによる
関東地方を対象とした降灰ハザード評価」 服部康男 (電中研)
- 14:10-14:35 「新燃岳2011年噴火の噴煙柱復元」 萬年一剛 (温地研)
- 14:35-15:00 「1次元降下・堆積プロセスにおける粒子数保存則の導出および新燃岳2011年噴火への
応用」 入山宙・寅丸敦志 (九大)
- 15:00-15:25 「降灰モデルにおける鉛直拡散と噴煙形状の影響」
清杉孝司・小屋口剛博・鈴木雄治郎 (地震研)
- [休憩]
- 15:45-16:10 「2014年9月27日御嶽山噴火の降灰予測」
新堀敏基・橋本明弘・石井憲介・佐藤英一・福井敬一 (気象研)
- 16:10-16:35 「パーティクルライダーによる浮遊火山灰濃度測定」 阿保真・茂木達也 (首都大)
- 16:35-17:00 「新燃岳2011年噴火におけるマグマ溜まり収縮と噴煙高度の関係」
小園誠史¹・上田英樹²・新堀敏基³・福井敬一³ (¹東北大・²防災科研・³気象研)
- 17:00-17:25 「マグマだまりにおける3次元粒子 - 流体混相流シミュレーション」
古市幹人 (JAMSTEC)

12月5日（金）

- 10:30-10:55 「火砕流ダイナミクスに関する数値的研究」
志水宏行・小屋口剛博・鈴木雄治郎(地震研)
- 10:55-11:20 「個別要素法によるマグマ貫入シミュレーション」 藤田英輔 (防災科研)
- 11:20-11:45 「桜島2013年の噴煙活動と鹿児島の大気環境」
木下紀正 (鹿児島大)・坂本昌弥(鹿児島県立博物館)
- 11:45-12:10 「噴火予知へのシミュレーションの活用に向けて」 井田喜明 (アドバンスソフトKK)
- 12:10-12:35 「G-EVER火山災害予測支援システムのTitan2Dによるハザード・リスク評価」
宝田晋治 (産総研)